

次世代グローバル700cc エンジン | エンジンの特徴

Honda は今回、次代を見据え、中間排気量エンジンの経済性や扱いやすさの利点はそのままに、グローバルに対応できる二輪車用エンジンとして、軽快かつ「成熟した走りのテイスト」を実現する出力特性を目指し、低・中回転域でトルクフルなうえに、小気味よい鼓動感の感じられる軽量・コンパクトな 700cc 水冷・OHC・直列 2 気筒エンジンを開発しました。

また、世界のお客様に満足いただける、扱いやすくスムーズで上質な走りを実現しながら、次代を見据えた低燃費の環境型エンジンとすることで、十分な航続距離を確保しながらも燃料タンク容量を減らしてコンパクトな形状とすることを可能とし、収納機能やデザインなどレイアウトの自由度を広げました。

アイドル時の理論空燃比(ストイキオメトリック)燃焼など精密な空燃比制御を実現し、浄化効率を高める PGM-FI の採用や直下型キャタライザーなどの先進技術を導入することで、排出ガス中の CO(一酸化炭素)、HC(炭化水素)、NOx(窒素酸化物)を大幅に低減させ、ヨーロッパの Euro3 排出ガス規制値を 1/2 レベルで達成するなど、力強くスムーズな出力特性を犠牲にすることなく、世界最高水準の環境性能を実現しています。

以下が具体的な技術手法です。

- ①シリンダー前傾角 62° (車両搭載角)、水冷・OHC・直列 2 気筒・270° 位相クランクによる不等間隔爆発
- ②1 軸 1 次 balancer
- ③ヘッド内分岐吸気ポート
- ④バルブタイミング
- ⑤燃焼の高効率化
- ⑥排出ガス浄化システム
- ⑦低フリクション化
- ⑧コンパクト化